

非核非戦の集い 2018

期 日 / 2018年7月6日(金)

会 場 / 袋町小学校平和資料館 (広島市中区袋町6-36)

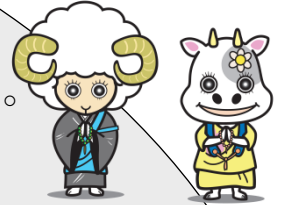
広島別院明信院 (広島県広島市中区宝町4番16号)

内 容 / 袋町小学校平和資料館を約1時間フィールドワーク後、
非核非戦法会 (広島別院教化委員会主催) に参列。

※非核非戦法会の詳細は「非核非戦法会」チラシ(裏面)参照。

集 合 / ① 袋町小学校平和資料館前に正午集合

② 広島駅中央改札口に午前11:45集合



1945(昭和20)年8月6日、広島に原爆が投下され広島は焼野原になりました。当時、広島城正面の大手町六丁目にあった広島別院明信院は、原爆投下により全壊焼失しました。しばらくの間再建が成りませんでした。原爆投下から6年後の1951(昭和26)年、宝町に寺地をえて、木造平屋建てで再建されました。

戦後苦しい生活の中での再建、それだけ念仏聞法の拠り所として別院が求められていた証であり、念仏の灯と願いが絶えることなく今に伝わっています。

その広島別院明信院で7月6日非核非戦法要が勤まります。人類はいまだ核の恐怖から解放されること無く、またその核の恐怖を直視しない現代において、8月6日を迎える意義は大きなものだと言えます。

また広島では、原爆投下の恐ろしさを語る建物が数多く存在します。このたびの非核非戦の集いでは、その中の一つである袋町小学校をフィールドワークします。原爆の凄まじい爆風と高熱により、外郭のみを残し倒壊・全焼した建物から、亡くなっていかれた、また残された人々の「いのちの叫び」に耳を傾け当時を振り返ります。

その後、広島別院で勤まる非核非戦法要に参列し、二度とこのような惨事が起こらないことを願い、戦争・核・いのちを問い、8月6日という日に思いを馳せる機縁として頂けたらと思います。

非核非戦の集い 参加申込書

山陽教務所 FAX: 079-292-1747

(担当: 草野・藤間)

氏名	
組	所属寺
集合場所	袋町小学校平和歴史資料館 ・ 広島駅中央改札口
備考	

広島別院明信院



広島別院明信院の境内の一隅にひっそりと立つ石灯籠は、由緒来歴は定かでないものの、被爆の跡がくっきりと残されており、往時の別院を偲ばせる。

袋町小学校



参加費無料

どなたでもご参加いただけます。

袋町小学校平和資料館(被爆建物)

爆心地から460メートルの位置にある広島市立袋町小学校(当時袋町尋常高等小学校)は、原爆によって大きな被害を受けました。当時、多くの児童は集団疎開や縁故疎開により被災を免れましたが、残っていた百余名の児童、そして教職員のほとんどが一瞬にして命を失いました。木造校舎はすべて倒壊・全焼し、唯一鉄筋コンクリート造だった西校舎だけが外郭のみ原型をとどめ、避難場所や救護所として、児童・教職員や地域の人々の安否を尋ねる場となりました。人々は、床に散らばるわずかなチョークで、焼けた壁に伝言を記しました。授業が再開されたのは、昭和21年(1946年)5月でした。

平成14年(2002年)、老朽化した校舎の建て替えに伴い、被爆した西校舎の一部が袋町小学校平和資料館として保存されました。「伝言」の書かれた内壁の一部をはじめ、残された貴重な被爆資料を展示するとともに、被爆後の学校の様子を紹介しています。

午後の法要のみ参加される方は、本申込は不要です。

昼食は、各自済ませて集合して下さい。

駐車場所がないため、自家用車でのお越しはご遠慮下さい。

2018年7月6日(金) 日程表

11:45	広島駅中央改札口 集合
12:00	袋町小学校平和資料館 集合後フィールドワーク
13:10	移動(袋町小学校⇒広島別院明信院)
13:30	非核非戦法会(広島別院教化委員会主催)
14:00	開会 挨拶 木曾 修(広島別院明信院輪番) 法要
15:00	法話 講師:古田 和弘 師(大谷大学名誉教授) 講題:「本願海と群生海」
16:00	閉会 挨拶 広島別院明信院責任役員
16:30	終了予定

裏面あり

【裏面】
広島別院
教化委員会主催
非核非戦法会
チラシ掲載

お問合せ

山陽教務所

(担当:草野・藤間)

TEL:079-292-3690

FAX:079-292-1747



袋町小学校平和資料館へのアクセス

(広島市中区袋町6-36 / 電話番号:082-541-5345)

広島駅(南口)から 市内電車(路面電車)

②号線 西広島行き または、宮島口行き・⑥号線 江波行き「紙屋町東」で下車、徒歩5分

①号線 紙屋町經由宇品行き「本通」で下車、徒歩5分